

第10回ジャパン・レジリエンス・アワード (強靱化大賞) 2024 受賞者決定!

初の内閣総理大臣賞発表

広告



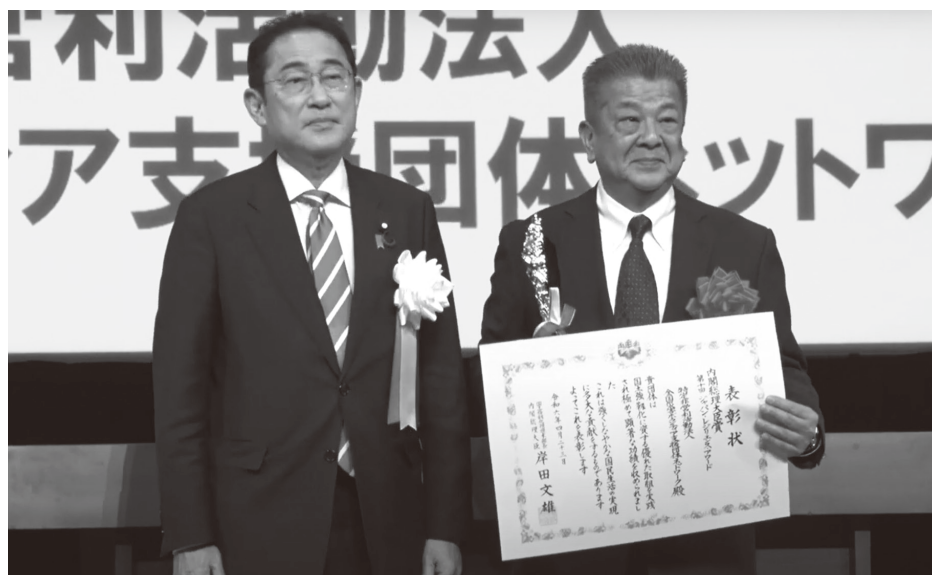
ジャパン・レジリエンス・アワード
2024

「一般社団法人レジリエンスジャパン推進協議会(会長・広瀬道明東京ガス株式会社相談役)は4月23日(火、東京・イノホールにて「第10回ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)」の表彰式を開催しました。この賞は、2014年11月に創設されて以来、全国で展開されている次世代に向けたレジリエンス社会構築への取り組みを評価・評価・表彰してあります。10年目を迎えた今年は、国土強靱化に資する民間の取組等を更に推進するために、功績のあった企業や団体等を内閣総理大臣、国土強靱化担当大臣が表彰できることになり、これを受けて、この度、内閣総理大臣賞・国土強靱化担当大臣賞を新たに創設しました。内閣総理大臣賞は、応募のあった団体の中で、最も高い評価を受けた団体に授与されます。また、この10年の中でレジリエンスに資する活動に多大なる貢献をしてくださった企業を表彰する「特別貢献賞表彰」も新設いたしました。授賞式は岸田文雄内閣総理大臣、松村祥史国土強靱化担当大臣出席のもと、執り行いました。

内閣総理大臣賞



特定非営利活動法人(認定NPO法人)
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク
災害時に、支援の「もれ・むら」をなくすため、行政・ボランティア・NPO等の連携・コーディネーションを目的とした取り組み

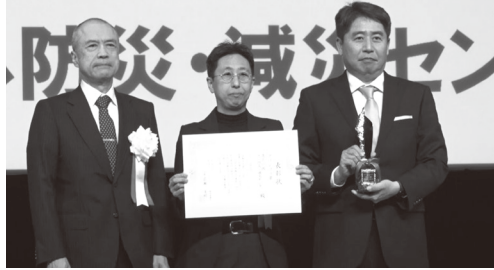


国土強靱化地域計画賞



株式会社エコミナミ/日本防災スキーム株式会社
大地震時の大規模火災を防止する感震ブレーカー「瞬断」/停電しても消えない電球「いつでもランプ tsuita」

グランプリ賞



清流の国ぎふ防災・減災センター
げんさい未来塾
地域防災に関する知識・スキル、人を育てる力、人と協働する力、企画立案実践力を中級レベル程度身につける1年間のプログラム

準グランプリ賞



仙台高等専門学校園田潤研究室
災害捜索やインフラ点検のための人手不要な全自動AI搭載地中レーダロボット

準グランプリ賞



株式会社 Cube Earth
空間ID生成技術「Cube Earth」を使用したスマート防災システム「MAMORU」

準グランプリ賞



高知防災プロジェクト
全国初の車中泊避難所の取り組み+ソフットの3重防護(伝える・つなげる・興す)

特別貢献賞表彰

- 特定非営利活動法人ピースウィングスジャパン
- 株式会社フォーラムエイト

最優秀賞

- 旭化成不動産レジデンス株式会社 ●株式会社長大 ●エー・シー・エス株式会社 ●株式会社コネブラ ●株式会社グローバル ●パナソニックアーキテクツデザイン株式会社 ●株式会社ASK商会 ●旭化成ホームズ株式会社 ●株式会社大木工務 ●サイファ・コア株式会社 ●エネルギーバンク株式会社 ●貴源庁株式会社 ●大垣市/株式会社オリエントコンサルタンツ ●日立造船株式会社、東洋建設株式会社、五洋建設株式会社 ●株式会社一条工務店 ●ポラスタウン開発株式会社、NPO法人日本防災環境、株式会社ユニゾン ●Newtonプラス株式会社 ●株式会社シグマエナジー

優秀賞

- 株式会社ダイワテック ●株式会社エスコ ●セコム株式会社、セコムトラストシステム株式会社 ●岡山県消防局予防課、岡山大学学術研究院教育学域、株式会社白獅子 ●ユアサ商事株式会社 ●サンヨーホームズ株式会社、サンヨーリフォーム株式会社 ●株式会社 H2 Innovation、株式会社 FC R&D ●大和ハウス工業株式会社、エリーパワー株式会社 ●株式会社シミズ・ビルライフケア ●株式会社山善 ●有限会社旭 ●TRE ホールディングス株式会社 ●国土防災技術株式会社 ●株式会社 Tokyo MB ●株式会社クローバー・テクノロジー ●株式会社UACJ ●株式会社フォルテ ●株式会社常陸 ●株式会社大木工務 ●株式会社絆ジャパン、エスイーエー株式会社

優良賞

- 株式会社 QED ●株式会社近江建設 ●一般社団法人冷暖総合管理センター ●株式会社フォルテ

第10回ジャパン・レジリエンス・アワード(強靱化大賞)最終審査委員会(50名)		
【委員長】 藤井 聡 【委員】 赤池 学 今村 文彦 白田 祐一郎 大石 久和 松本 孝夫	京都大学大学院工学研究科 教授 ユニバーサルデザイン総合研究所所長、一般社団法人 CSV 開発機構 理事長 東北大学 災害科学国際研究所 教授 国立研究開発法人 防災科学技術研究所 総合防災情報センター長 一般社団法人 全日本建設技術協会 会長 東京工業大学名誉教授/ゼロカーボンエネルギー研究所 GXI 最高顧問	中林 一樹 東京都立大学名誉教授/日本災害復興学会特別顧問 林 春男 京都大学名誉教授/一般社団法人レジリエンス協会会長 村上 周三 一般財団法人 建築環境・省エネルギー機構 理事長 村川 泰支 内閣府 国土強靱化推進 参事官(副書記長当時) 石井 啓 衆議院議員、公明党幹事長 二階 俊博 衆議院議員、国土強靱化提唱者

〈ジャパン・レジリエンス・アワード受賞企業の取り組み紹介〉日本のマンションのレジリエンス化に大きく貢献! 分譲マンションの感震ブレーカーでトップランナーの(株)エスコ 4年連続 ジャパン・レジリエンス・アワード優秀賞受賞!

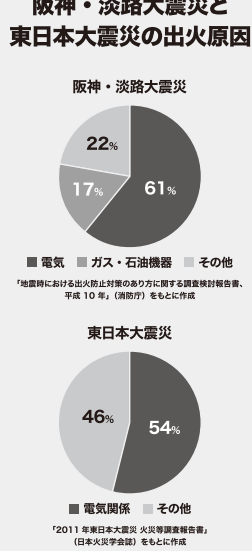
ジャパン・レジリエンス・アワードを4年連続で受賞した(株)エスコの取り組みについて、建築・都市工学の専門家であるマンション防災にも精通している芝浦工業大学の増田幸宏教授と(株)エスコの後久正明取締役が対談。マンションにおける感震ブレーカーの課題と展望について語りました。

対談 後久正明(株式会社エスコ取締役 不動産営業統括) 増田幸宏(芝浦工業大学 システム理工学部 教授)

災害時の火災の多くは電気関連

増田 この度は、4年連続したものが半数以上を占め、その多くが通電火災によるものと言われております。マンションへの感震ブレーカーの導入という非常に難しい課題を画期的な手法でクリアしていったことがその評価に繋がったというところですが、その経緯や取り組み内容をお聞かせいただけますか?

後久 ありがとうございます。阪神・淡路大震災と東日本大震災で発生した火災のうち、電気に関



マンションへの感震ブレーカー 全戸一括導入の実現へ

増田 生活の拠点となるマンションは公共性の高い存在です。1部屋でも火を出さないことは重要で、全戸一括の設置は理想と言えます。

後久 はい。ただ、設置にはマンションならではの課題がありました。管理規約の改定、専有部設備のホーム分電盤を感震ブレーカーに対応させるのが難しかったのです。そこで弊社では、共用部設備として感震機能を後付けできる「感震センサー」をメーカーと開発

である引込開閉器盤が適切に保全されていない場合があります。マンションなどの集合住宅の各戸へ電線を供給するための共用分電盤のこと。

増田 共用部の引込開閉器盤と専有部にある感震ブレーカーは繋がっているのですが、それぞれが適切に管理することが重要で、しかし中間領域は責任が曖昧になりがちで消火も難しい状況です。

後久 高圧受電の建物であれば、受電設備の法令点検が定められています。ただ、点検で指摘されても改修されないケースも少なくありません。

マンションレジリエンスの評価・認証の仕組みづくり

後久 保安点検と改修工事の両方を事業として行っている弊社の経験から言えるのは、予防保全としての定期的メンテナンスが重要で、将来的に消費者がマンションを選ぶ際の判断基準になっていくと考えています。

増田 そのためには、感震ブレーカーのさらなる普及に貢献する必要があります。助成制度が不可欠です。実際に、助成金を出している東京都の荒川区では導入が進んでいます。

後久 はい。今後ユーザーが安心して信頼できるマンションを選べるように、マンションのレジリエンスを評価・認証する制度をつくりたいと思います。今後とも引き続き全国のマンションの強靱化に尽力をいただければと思います。

後久 ありがとうございます。これからますます普及してまいります。これからも着実に備え運用も適正化されていきます。

エスコの受賞理由



後久 正明氏

マンションへの感震ブレーカーの一括導入という、重要ではあるが極めて課題が多いテーマについて、一貫して取り組んできた(株)エスコ。取り組みの過程で見えてきた課題を、メーカーとの製品開発、マンション管理規約の改定支援、コスト削減ソリューションをセットにしたマンション管理資金不足対策など、画期的なアイデアと手法で一つ一つクリアしてきたことが、4年連続受賞につながりました。一つのテーマで4年連続受賞したのは(株)エスコが初めてとなります。

